

会 議 録

会議名 (審議会等名)		(仮称) 相模原市D X推進計画策定検討委員会		
事務局 (担当課)		D X推進課 電話0 4 2－7 6 9－8 2 1 2 (直通)		
開催日時		令和7年4月28日(月) 10時00分～11時00分		
開催場所		相模原市役所 第1別館1階 開発室A (オンラインにより実施)		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	4人(D X推進課長、他3人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開会 2 議事 (1) 委員紹介 (2) 検討委員会の所掌事項等について (3) (仮称) D X推進計画の策定について 3 閉会		

議 事 の 要 旨

1 開会

2 議事

(1) 委員紹介

事務局から、本委員会の委員長については、事務局による推薦により、青山学院大学の飯島教授に御依頼させていただき旨を説明した後、別紙資料に基づき、委員紹介を行った。

(2) 検討委員会の所掌事項等について

事務局から別紙資料に基づき、検討委員会の所掌事項等について説明を行った。主な意見については、次のとおり。

(飯島委員) 計画策定後、計画の進捗等を検証するような委員会を設置する予定はあるか。

(事務局) 現状では未定。今後、御意見をいただきながら、検討させていただく。

(3) (仮称) D X推進計画の策定について

事務局から別紙資料に基づき、(仮称) D X推進計画の策定について説明を行った。主な意見については、次のとおり。

(飯島委員) 次回の検討委員会で議題となる現状の調査分析について、年齢層によって求めるD Xが異なるため、どこの層に訴えるD Xなのかということを整理し、年齢層別に、分類をすることで出てくる本市の現状や事例等を挙げてもらいたい。

(事務局) 御意見を踏まえ、検討していく。

(小山田委員) 資料の10ページ、D X推進の方向性の部分について、資料では「住民の利便性の向上」と「庁内業務の効率化」の2点がD X推進の柱になっている。一方で私は、企業のD X推進が課題と感じている。今回議論の方向性としては「住民の利便性の向上」と「庁内業務の効率化」の2点ということか。条例では、市内の事業者を含んでいるという表記になっていたため、方向性を確認したい。

(事務局) 企業のD X推進については、住民の利便性向上から派生する部分として、検討していきたい。

(及川委員) 行政で作成されるDX推進計画や、DX条例では、教育の分野が含まれていない、または記載があっても数行程度ということが多い。相模原市ではどの程度のボリュームを考えているか。本計画に含めていくのか、別に策定していくのかといった部分の想定等があればお聞かせいただきたい。

(事務局) 教育については重要な分野の1つであると考えているため、教育分野も含めた計画にしていきたいと考えているが、どのような形にするのか、まだ整理がなされていないため、今後調整をしていく予定。

(事務局) 計画期間について現状3か年を想定しているが、このことについて委員の皆様からご意見をいただきたい。

(飯島委員) 3か年で良い。ただし、本計画で位置付けた内容を次期総合計画に反映させる必要がある。そのために、枠組みだけでも早く示すことや、区民会議などでも各部署の計画を実施して欲しいということを示すことが重要である。また、計画を策定した後、計画の実施状況を検証していくような委員会などを設けていく必要がある。

(八木委員) 次回の資料はいつ頃展開いただけるのか。

(事務局) 会議の1週間前を目安に展開する予定。

3 閉会

(仮称) 相模原市D X推進計画策定検討委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯島 泰裕	青山学院大学社会情報学部教授	委員長	出席
2	及川 葉月	株式会社エージェント 自治体D X事業部 事業責任者		出席
3	小山田 隆貞	株式会社 きらぼし銀行 連携推進部 次長 (兼任 東京きらぼしフィナンシャルグループ 連携推進部公共連携推進室 室長)		出席
4	八木 彩夏	東日本電信電話株式会社東京西支店 ビジネスイノベーション部 地域基盤ビジネスグループ		出席
5	渡邊 将文	株式会社MEMOテクノス代表取締役		出席